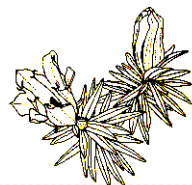


# 屋久島国立公園だより

2009年10月号



発行：環境省屋久島自然保護官事務所（屋久島世界遺産センター内）

〒891-4311 屋久島町安房前岳 2739-343

TEL:46-2992, FAX:46-2977, E-mail: [RO-YAKUSHIMA@env.go.jp](mailto:RO-YAKUSHIMA@env.go.jp)

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性

## ☆生物多様性って何だろう？

“生物多様性”という言葉を知っていますか？

約40億年前、この地球上に誕生した“生命”は、進化と淘汰を繰り返しながら様々な環境に適応し、現在地球上の至るところに存在しています。そして、食べたり食べられたり、うまく利用したりされたりという膨大なつながりの中で、バランスを崩さず生活しています。それが“生物多様性”の姿です。

もう少し具体的に説明をすると、“生物多様性”は一般的に次の3つの視点で捉えられています。

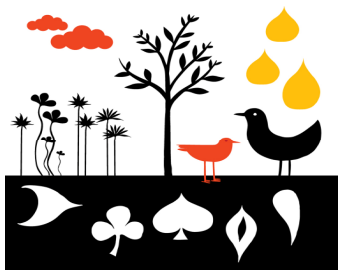


### 生きものの種類が豊かなこと(種の多様性)

たくさんの種が生息・生育していることです。屋久島に生育する植物は1300種類ともいわれています。その中には、屋久島だけに分布する種(=固有種)を多く含んでいます。



### 生態系が豊かなこと(生態系の多様性)



多くの生態系(=生きもののみとまり)が見られることです。屋久島では、山、川、海など様々な環境タイプがあるだけでなく、標高や海流の影響によって、寒い地方にみられるものから亜熱帯地方でみられるものまで、様々なタイプの自然が存在します。

### 遺伝子が変化に富んでいること(遺伝子の多様性)

同じ種のなかでも、様々な遺伝子を持つ個体が存在することです。寒さに強い個体がいたり、暑さに強い個体がいたり、種の中の遺伝子多様性が大きいと、気候など環境の変化に対して種として生き残る可能性が高いと言えます。



ちょうど1年後の2010年10月には、「生物多様性条約(CBD)第10回締約国会議(COP10)」という会議が愛知県名古屋市で開催されます。この会議は、世界中から約7000人もの人々が参加する大変大きな国際会議です。現在、地球は大絶滅期と言われていて、20分間に1種が絶滅するとも言われています。その絶滅のスピードに拍車をかけているのは私たち人間です。生きものの絶滅スピードを抑え、生物多様性を守るためには私たちは何をすべきか、その会議では様々な観点から話し合われる予定です。

# 自然に親しむ集い

今回は、高平集落の岳参りの山でもある“高平岳”に登ります！

## 高平岳登山のご案内

共催 / 九州地方環境事務所、屋久島町、財団法人屋久島環境文化財団

開催日時 / 平成21年10月25日(日)8:00~13:30(受付7:45)

開催場所 / 屋久島町麦生 高平岳

◇定員 / 15名(先着順)

◇参加対象 / 中学生以上

講師は、屋久島野外活動総合センター(YNAC)の小原比呂志さんです

◇参加料 / 1人 300円

(ご家族で参加される場合は、2人目から1人当たり100円増し)

◇集合・解散場所 / 高平公民館駐車場

◇応募方法 /

10月13日(月)~10月21日(水)の間に、電話、メール、ファックスにて、屋久島自然保護官事務所までご応募ください。メール・ファックスの場合は、必ず住所・氏名・自宅の電話番号をご記入ください。なお、応募は“先着順”とさせていただきます。

◇服装、持ち物など /

登山靴、動きやすい服装、タオル、弁当、水筒等

◇その他 /

高平岳登山道は、本格的に整備された道ではないため、滑りやすいです。体力などに不安のある方は、前もって屋久島自然保護官事務所までご相談ください。悪天候等のため中止する場合は、前日18時半までに 電話連絡します。

### “生物多様性”を身近なところから感じてみませんか？

“いきものみっけ”は、日々の暮らしの中で身近な生きものを見つけて、みんなで教え合おうという取り組みです。

「ヒガンバナが咲いたよ。」「ウグイスが鳴いたよ。」

季節ごとに変わる生きものの動きに気づいたら、インターネットを通じて、報告しましょう！簡単なことだけど、全国からデータが集まると面白いことがわかってきます。

※学校やサークルなどの団体に登録もできます。環境学習の教材にもぜひ活用してみてください！



いきものみっけ

www.mikke.go.jp



※「自然に親しむ集い」のお知らせは、屋久島町のご協力により配布されています。